

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>ソーシャルワーカーにとって必要である専門職としての倫理を理解したうえでマイクロ・メゾ・マクロレベルでのソーシャルワークの必要性やジェネラリストの視点から包括的な支援の重要性を学ぶことを目的とする。</p> <p><概要>本講義では学生がソーシャルワーカーとして必要な専門職の倫理、ソーシャルワーク実践での基本となる考え方を身につけられるよう進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	今後の専門科目の基盤となる科目なので重要な概念、用語などの予習復習を通じて自主的に疑問を調べて理解をする必要がある。積極的に質問をすることが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通・社会専門) /編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じて資料を配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの倫理綱領の意義について理解し説明できる。			HC(4)、(5)	
②	ソーシャルワークにおける倫理的ジレンマについて理解し説明できる。			HC(3)、(5)	
③	マイクロ・メゾ・マクロレベルのソーシャルワーク実践の視座について理解、説明できる。			HC(3)、(5)	
④	ジェネラリストの視点に基づいたソーシャルワークについて理解し説明できる。			HC(3)、(5)	
⑤	社会福祉士の職域を知り多職種との連携の必要性を理解し、説明できる。			HC(1)、(3)、(5)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価についての説明、学習方法について理解する。) 前期振り返りをする。	講義	シラバスを精読する。 教科書の目次を把握する。	2	
2	ソーシャルワークの倫理① 専門職倫理の概念と倫理綱領を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 5 章第 1,2 節を精読し 予習と復習をする。	4	
3	ソーシャルワークの倫理② ソーシャルワーク実践における倫理綱領の活用を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 5 章第 2 節を精読し予 習と復習をする。	4	
4	ソーシャルワークの倫理③ 倫理的ジレンマを学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 5 章第 3 節を精読し予 習と復習をする。	4	
5	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲① ソーシャルワーク専門職の概念と範囲を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 6 章第 1 節を精読し予 習と復習をする。	4	
6	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲② 社会福祉士の職域と役割を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 6 章第 2 節を精読し予 習と復習をする。	4	
7	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲③ 多様な組織・機関・団体における専門職を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 6 章第 3 節を精読し予 習と復習をする。	4	
8	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲④ 諸外国の動向を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 6 章第 4 節を精読し予 習と復習をする。	4	
9	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク① マイクロ～マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 7 章第 1 節を精読し予 習と復習をする。	4	
10	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク② マイクロ～マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 7 章第 2 節を精読し予 習と復習をする。	4	
11	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク③ マイクロ～マクロレベルのソーシャルワーク実践を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 7 章第 2 節を精読し予 習と復習をする。	4	
12	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容① 総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 8 章第 1 節を精読し予 習と復習をする。	4	
13	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容② ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 8 章第 2 節を精読し予 習と復習をする。	4	
14	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容③ 多職種連携およびチームアプローチの意義と内容を学ぶ。	講義・ ディスカッション	教科書第 8 章第 3 節を精読し予 習と復習をする。	4	
15	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容④ 事例をもとに理解を深める。	講義	教科書第 8 章第 3 節を精読し予 習と復習をする	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	10	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	15	0	0	10	25
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業の全体を通してソーシャルワークに必要な専門性についてのレポート課題を課す。				結果を返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	理解を深めるためにディスカッションを実施する。主体的な受講姿勢を評価する。				講義内で適宜フィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・当科目は編入生用科目である。 ・「授業計画」の事前事後学習に加え、講義中に紹介した司法福祉に関連する図書、映画、動画資料などを閲覧し、幅広い視野からソーシャルワークの素養をさらに深めることを課題として課す（20 時間）。 ・生成 AI（ChatGPT 等）を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 ・教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 						